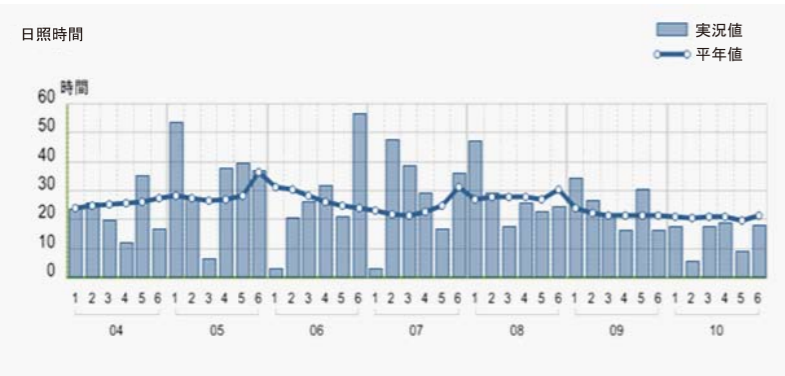
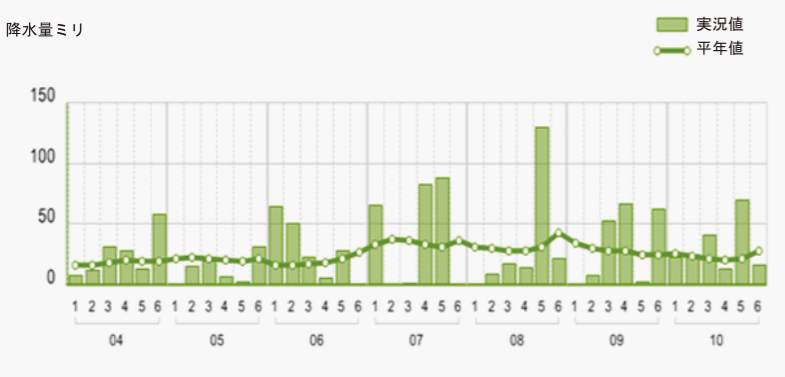
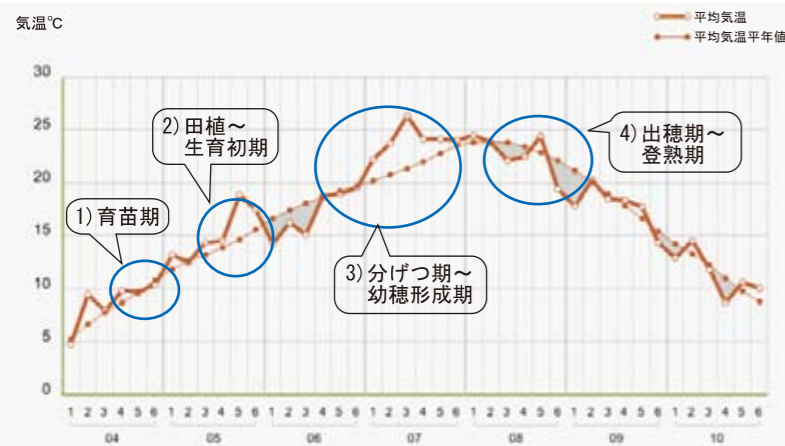




気象経過【アメダス大館2017年4月第1半旬～10月第6半旬】



7月15日時点での調査では、「草丈・60・5cm(平年比94・1%)、茎数・592・9本/m(同103・1%)、葉数・10・6葉(同▲0・5%)、葉色・36・5(同▲1・7%)」と、7月に入って高温で日照時間も多く、遅れていた生育が回復し平年並みの茎数となりました。

① 育苗期
播種作業はほぼ平年並みに始まり、4月下旬に気温が低い日がありましたが、育苗期間を通して概ね良好でした。4月の降水量は平

② 田植え～生育初期
田植え作業は5月10日頃から始まり、5月中旬は気温の高まりが続き、5月20日頃までに田

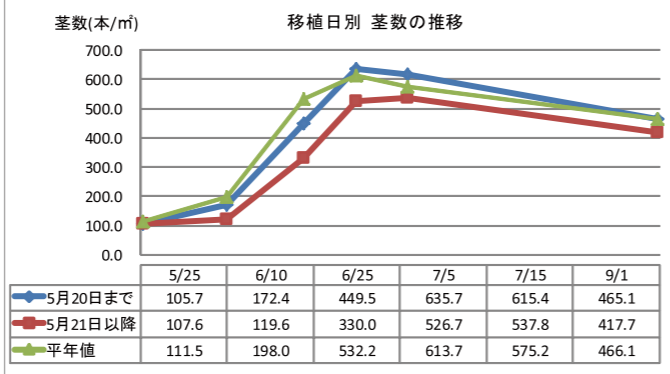
③ 分けつ期～幼穂形成期
6月25日時点での調査では、「草丈・41・4cm(平年比80・4%)、茎数・414・8本/m(同77・9

生育状況

平成29年度
水稻生育状況
および作柄

年より多く、耕起作業の始期は若干遅れましたが、5月の好天により作業が進み、盛期は平年より2日早い、5月4日となりました。4月下旬以降は平均気温が並高、日照時間が多く出芽は概ね順調でした。

植えた圃場では苗の活着・初期生育は順調でしたが、5月下旬～6月上旬にかけて低温で日照時間が少ない影響で、5月下旬以降に田植えた圃場では生育量が少なく、移植日による生育差が顕著となりました。



移植日：5月20日まで22カ所、5月21日以降9カ所
(管内あきたこまち展示圃31カ所より)

平成30年度支援策(案)

助成内容	対象	対象金額	助成率	10a当り助成金額
①粒状てんろ石灰・堆肥バラ散布	60ha	15,000円/10a	1/6	2,500円
②地力増強作物種子	5ha	6,000円/10a	1/2	3,000円

①面積10a以上で、重点8品目に取り組み、JA市場出荷実績が部会平均出荷量の70%を超えた栽培者となります。ほ場条件等によりバラ散布ができない場合や、品目的に別の資材を散布する場合は、部会で取りまとめた資材への助成とします。
②面積10a以上で、重点8品目の前作として取り組んだものとします。

土づくり支援策

平成30年度支援策(案)

助成内容	対象	対象金額	助成率	10a当り助成金額
成績優秀生産者	5名	50,000円/1名	全額	—円

■野菜主要品目(アスパラ・ヤマノイモ・エダマメ・キュウリ・ネギ)に取り組み、部会の平均面積以上、製品出荷量が各品目の上位でJAの生産振興に寄与した生産者に対し助成します。

優良生産者

平成29年度 生産者大会表彰者

【あきた北農業協同組合長賞】

稲作 畠山 豊実 (十二所)
トマト 渡邊 一博 (比内町向田)
スナップエンドウ 佐藤 ユミ (葛原)
小玉スイカ 高橋 育子 (比内町中野)
果樹 畠山 鉄美 (曲田)
比内地鶏 菅原 繁晴 (比内町笹館)
和牛 貝森 賢功 (商人留)
直売所 黒田 邦子 (十二所)

【大館市地域農業振興賞】

ヤマノイモ 赤坂 敏 (山田)
アスパラガス 佐藤 朋和 (二井田)
エダマメ 佐々木長忠 (有浦)
ネギ 花田 陽子 (沢尻)
キュウリ 五十嵐久郎 (早口)
トンブリ 渡邊 篤史 (比内町向田)
花き 藤盛 久登 (花岡)

【優良生産者】
ヤマノイモ 松田 健 (二井田)
アスパラガス 真崎 久 (四羽出)
エダマメ 小畑 俊行 (三浦)
ネギ 阿部 岩雄 (軽井沢)
キュウリ 石垣 勝 (中山)

放射性物質検査報告

JAあきた北は、風評被害防止や消費者の安全と信頼の確保を図る観点から、放射性物質検査を実施しました。玄米につきましては、2検体実施し、基準値を超える検体はありませんでした。青果物や畜産物につきましては、左記JA選択作目21品目のうち、12月20日時点で検査が終了した20品目についても基準値を超える検体はありませんでした。今後、残りの1品目(山ウド)についても検査を実施する予定です。

JA選択作目

- ①アスパラ ②ネギ ③夏秋キュウリ
- ④キャベツ ⑤シシトウ ⑥カボチャ
- ⑦夏秋トマト ⑧ミニトマト ⑨米ナス
- ⑩オクラ ⑪スナップエンドウ
- ⑫ジャンボインゲン ⑬山ウド
- ⑭比内地鶏 ⑮エダマメ ⑯トンブリ
- ⑰和梨 ⑱小玉スイカ ⑲リンゴ
- ⑳ホウレンソウ ㉑ヤマノイモ